

会社概要

Company Profile



会社名	小西安株式会社	
本社	東京都中央区日本橋本町二丁目 6 - 3	
創業年月日	1828年2月16日（文政11年）	
設立年月日	1921年11月15日（大正10年）	
資本金	3億1,500万円	
代表者	小西 健	
従業員数	136名	
売上高	544億3,081万円（2023年3月期）	



- ・ 国内外の中間体、医薬原薬の輸出入、薬事対応登録

Import/Export of APIs
JDMF registration support



- ・ 国内外の医農薬原料、中間体及び化粧品原料の輸出入

Import/Export of raw materials/
Intermediates for Pharmaceutical,
Agricultural chemical and Cosmetics

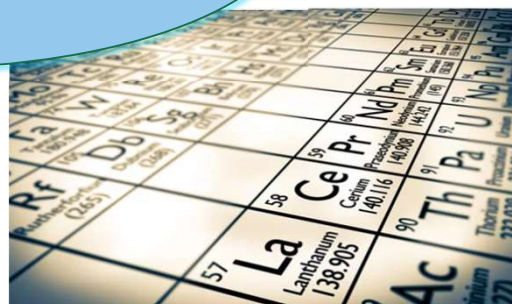


化学薬品専門商社



- ・ 国内外の電子材料、環境対応商品

Domestic and overseas
Electronics materials,
Eco-friendly products



- ・ 国内外の有機、無機化学品

Domestic and overseas
Organic, Inorganic
chemicals

国内拠点及びグループ会社

Domestic Bases



- ・ 本社（東京都中央区）
- ・ 大阪支店（大阪市西区）
- ・ 鹿島事務所（茨城県鹿島）



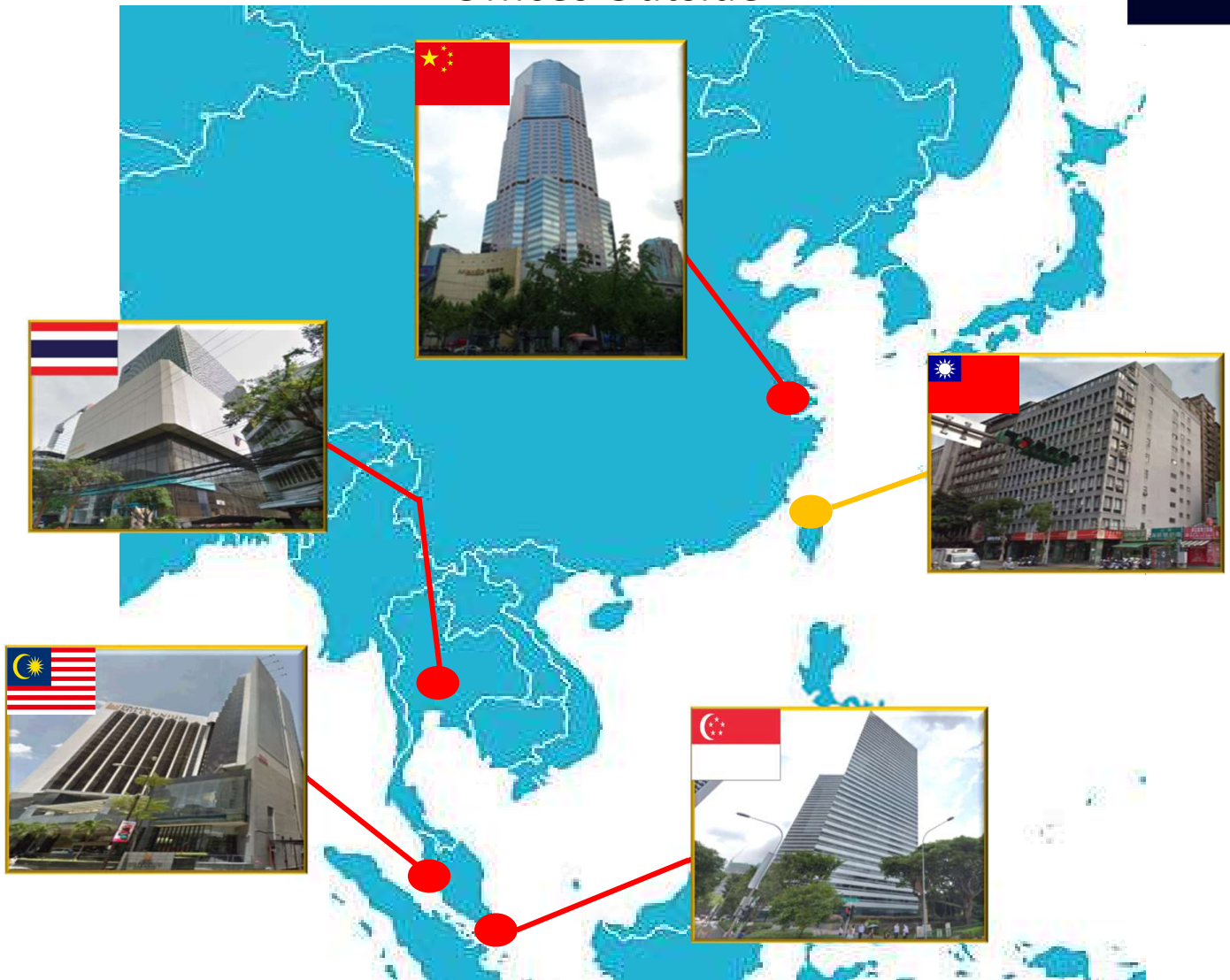
関係会社

- ・ 河村薬品株式会社（北海道札幌市）
- ・ 村上化学株式会社（愛知県名古屋市）
- ・ 小西安農業資材株式会社（東京都中央区）



海外拠点

Offices Outside



現地法人

- ・ 中国 (上海) China
- ・ シンガポール Singapore
- ・ マレーシア (クアラルンプール)
Malaysia
- ・ タイ (バンコク) Thailand

支店

- ・ 台湾 (臺北市) Taiwan

中間体・医薬原薬ビジネス

Business Models



国内外(中国、インド等)の原料、中間体、医薬原薬などの調査、提案、MF登録申請、国内管理人

薬事品管管理対応

- ・ DMF登録
- ・ 製品の品質管理
- ・ 製造所のGMP監査
- ・ 薬事文書の作成及び管理



ビジネス実績

- ・ 医薬原薬、中間体の輸入販売
- ・ 委受託生産（CDMO）：
海外の委託先にて医薬原薬 中間体 等
- ・ 委託研究（CRO）：創薬開発 新規不純物 等



取り扱い品目

- ・ 医薬原薬
(抗がん剤、高薬理活性物質、糖尿病薬等)
- ・ 医薬中間体
- ・ ペプチド、核酸医薬等
- ・ バイオ医薬関連原料
(培地、カラム等)



CDMO ビジネス



国内外のCDMOメーカーと多くの取引実績がありお客様のご要望に応じたサービスを提供致します

【過去の実績】

サンプル受注実績：100品目以上

量産受注（10kg～1000kg未満）実績：約100品目

リピートオーダー実績：約50品目

顧客満足度90%以上、mg～数100MT迄対応可

【主な協力会社】

メーカー名	得意な製品、技術
Shanghai Haoyuan Chemexpress Co., Ltd. (China)	<ul style="list-style-type: none">・高活性中間体及び原薬・ペプチド化合物（中分子）・結晶多型の研究開発 等
Huanggang Luban Pharmaceutical Co.,Ltd. (China)	<ul style="list-style-type: none">・グリニャール反応・プロスタグランジン化合物・キラル化合物 等
Laxmi Organic Industries Ltd. (India)	<ul style="list-style-type: none">・フッ化反応・ニトロ化反応・ケテン、ジケテン化合物 等
Jubilant Ingrevia Limited (India)	<ul style="list-style-type: none">・ピリジン誘導体・ナイアシンアミド・グリニャール反応 等

主なサプライヤー

Main Suppliers



メーカー名	主な供給品目等
Piramal Pharma Limited	<ul style="list-style-type: none">• CDMO（受託製造）• 医薬原薬（降圧剤、抗精神病薬、抗パーキンソン病薬）
Ami Lifesciences Pvt. Ltd.	<ul style="list-style-type: none">• 医薬原薬（糖尿病治療薬、降圧剤、抗てんかん薬、鎮咳薬、抗うつ薬、喘息治療薬）
Arene Lifesciences Limited	<ul style="list-style-type: none">• 医薬原薬（抗レトロウイルス薬、抗ウイルス薬、降圧剤、抗結核薬）
Viruj Pharmaceuticals Pvt., Ltd.	<ul style="list-style-type: none">• CDMO（受託製造）• 医薬原薬（糖尿病治療薬、貧血治療薬）
Shanghai Haoyuan Chemexpress Co., Ltd	<ul style="list-style-type: none">• CRO（受託研究）• CDMO（受託製造） 高活性中間体及び医薬原薬
Changzhou BOHIV Pharmaceutical Co., Ltd.	<ul style="list-style-type: none">• 中間体（プロスタグランジン系中間体、キラル化合物）
Qi-chem Co., Ltd.	<ul style="list-style-type: none">• 中間体（ベンゼン系フッ化物）
WuXi AppTec	<ul style="list-style-type: none">• CRDMO• CTDMO
GL Biochem (Shanghai) Ltd.	<ul style="list-style-type: none">• アミノ酸• ペプチド
Genchem & Genpharm (Changzhou) Co., Ltd.	<ul style="list-style-type: none">• アミノ酸保護基• 保護アミノ酸
GenScript Biotech Corporation	<ul style="list-style-type: none">• ペプチド• 抗体• タンパク質

ペプチド・核酸医薬等



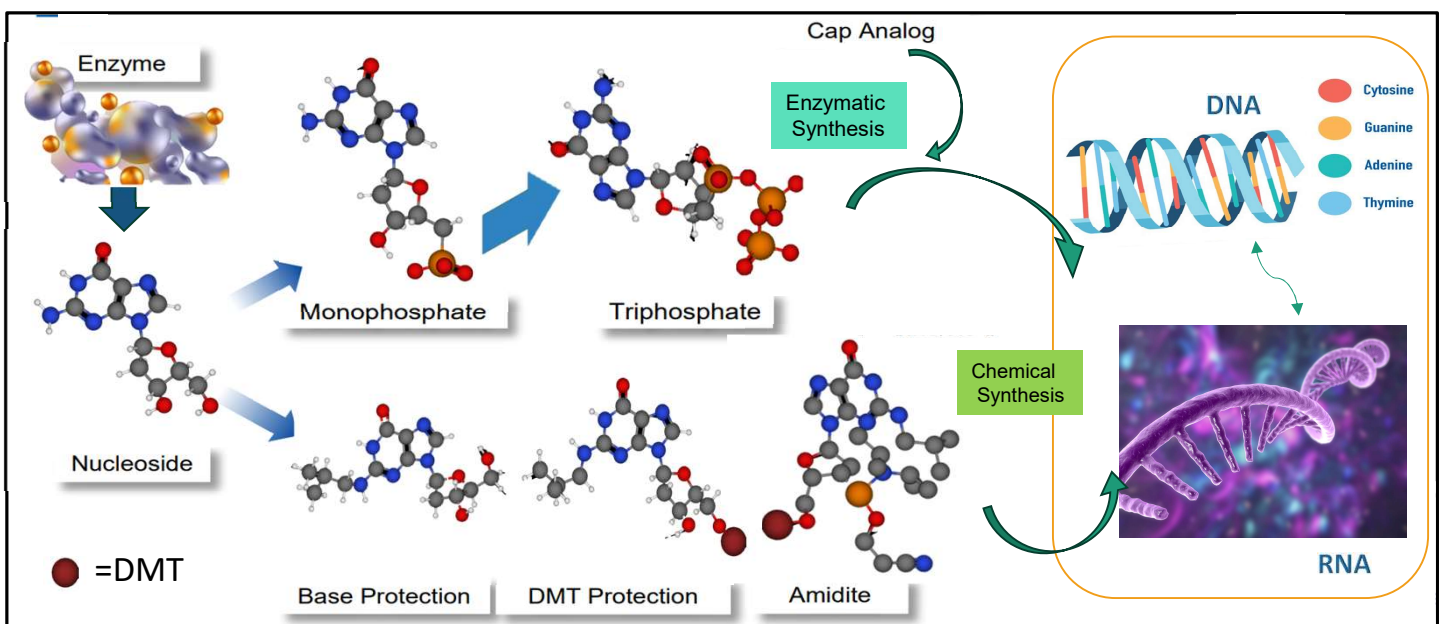
非天然アミノ酸

構造式	CAS	製品名	分子量	純度
	1043043-79-3	Fmoc-Tyr(2,6-Me ₂ ,4-tBu)-OH	487.59	>95%
	1072845-47-6	Fmoc-α-Me-L-Asp(OtBu)-OH	425.47	>95%
	1097192-05-6	Fmoc-L-BisHomoPrapargylGly-OH	363.41	>95%
	1176648-58-0	Fmoc-(S)-2-Methoxy-phenylglycine	403.43	>95%

縮合剤

製品名	CAS NO.
AOP 7-Azabenzotriazol-1-yloxytris(dimethylamino) phosphonium hexafluorophosphate	156311-85-2
BOP Benzotriazol-1-yloxytris(dimethylamino)phosphonium hexafluorophosphate	56602-33-6
BOP-CL Bis(2-oxo-3-oxazolidinyl)phosphinic chloride	68641-49-6
Brop Bromotris(dimethylamino)phosphonium hexafluorophosphate	50296-37-2
BTFFH Fluoro-N,N,N',N'-bis(tetramethylene)formamidinium hexafluorophosphate	164298-25-3
BCAT Benzotriazole-1-Carboxamidinium Tosylate	163853-10-9
CDI 1,1'-Carbonyldiimidazole	530-62-1
CDP 1,1'-Carbonyldi-pyrrolidine	81759-25-3
CIB 2-Chloro-1,3-dimethylimidazolidinium tetrafluoroborate	153433-26-2

核酸関連



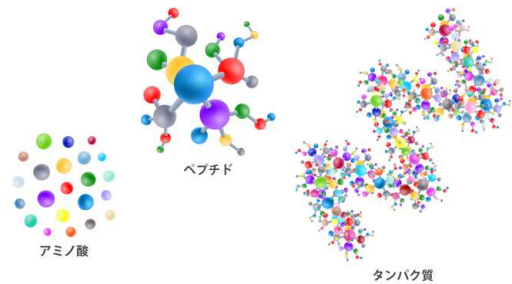
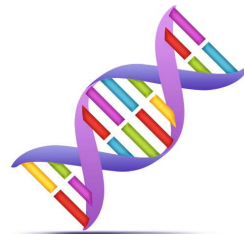
バイオ関連ビジネス



バイオ医薬品を含む医薬品製造に関連
商材を幅広く取り扱っております

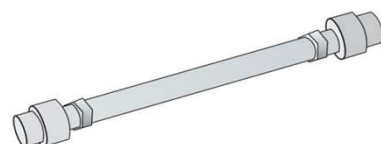
【取扱商材】

- ・ アミノ酸
- ・ ペプチド
- ・ 核酸
- ・ 酵素
- ・ ワクチン関連



- ・ ADCリンカー
- ・ 分離分取剤
- ・ 培地
- ・ カラム
- ・ フィルター
- ・ 樹脂

- ・ その他



DDS 担体(自己組織化ペプチド)

～スリー・ディー・マトリックス (3DM)～



3DM社は、米国マサチューセッツ工科大学 (MIT) 発の技術による自己組織化ペプチドを吸収性局所止血材 (医療機器) として開発を進め、現在日米欧などで販売中、グローバルに事業展開を行っています

近年、このペプチドは核酸医薬 (siRNA/miRNA)、各種ワクチン、抗がん剤などのDDS担体として研究開発が進められています

また、界面活性剤様ペプチドであるA6Kも開発されDDS担体としての選択肢が広がっています

【DDSとして期待されるメリット】

- ・天然型アミノ酸で構成され、良好な吸収性と安全性を有する
- ・スローリリースにより長期的な効果が得られる
- ・アジュバンド増強効果によりアジュバンドの減量、副反応の低減
- ・冷蔵又は常温での保管管理が可能 (確認中)

1) 自己組織化ペプチド : RADA 16

両親媒性のペプチドで構成されており、pHの変化や無機塩との反応により、アミノ酸の疎水結合と相補的な電荷の分布によってナノファイバーが形成され3次元構造が維持されます

2) 界面活性剤様ペプチド : A6K

6-10残基程度のアミノ酸から構成される自己組織化ペプチドで水溶液中で粒子径が約50-100nmのナノミセルやナノチューブを形成します

ワクチンの開発支援

～VLP Therapeutics Inc～



小西安株式会社は、革新的なレプリコン・VLP基盤技術によりがんワクチンや各種感染症ワクチンの創薬を行う**VLP Therapeutics 社**の開発を支援しています

VLP Therapeutics 社は、世界の「満たされていないメディカル・ニーズ」に応えるべく、赤畑渉博士らが2013年に設立したワクチン創薬ベンチャーです

VLP Therapeutics Inc : <https://vlptherapeutics.com/>
(本社：米国メリーランド州ゲイサースバーグ、CEO：赤畑渉)



プラットフォームテクノロジーと 開発パイプライン

基盤技術	予防/治療対象	発見	前臨床	CMC ¹	臨床 第1相	第2相	第3相
VLP:表面抗原提示 (i- α VLPプラットフォーム)	マラリア	→					
	がん	→ アジュバント ² 変更					
VLP:遺伝子デリバリー・ レプリコン(次世代mRNA)	がん	→					
レプリコン(次世代mRNA)	COVID-19(変異株)	→ 第3相 臨床試験 オミクロン株XBB:1.5対応1価ワクチン					
	COVID-19(ユニバーサル)	→					
	季節性インフルエンザ	→					
VLP:構造タンパク	デング熱	→					

2023年12月時点